



学校 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/chigasaki/>

学校教育目標 **自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子**

こども読書の日

校長 宮崎美代子

木々の新芽が黄緑色に輝いています。若々しくみずみずしい新芽を眺めていると、とても清々しい気分になります。新しい学年になって1ヶ月。子どもたちは、教室・先生・友達にも徐々に慣れて、元気いっぱいになり、勉強したり、遊んだりしています。

先日、1年生を迎える会がありました。6年生と手をつないで、花のアーチをぐって入場した1年生は、可愛らしさにあふれていました。「茅ヶ崎小学校〇×クイズ」で、全校中が茅ヶ崎小学校のことを再確認。子どもたち全員が「学校大好き」でがんばってってくれるといいなと思いました。



さて、秋の読書週間は有名ですが、春のこの時期にも「こども読書週間」というのがあります。「子どもたちに、もっと本を！」との願いから1959年に始まりました。「世界本の日・こども読書の日」である4月23日からスタートし、5月12日までが「こども読書週間」となっています。4月23日の「こども読書の日」は2001年12月に公布、施行された「子どもの読書活動推進法」によって定められました。小さい時から本を読む楽しさを知っておくことは、とても大切なことであると考えます。読書をする、文字を読むという作業は、想像力を豊かにすることにつながっています。それは、自分の知らない世界を知り、自分だったら・・・と自分に置き換えながらイメージしていく作業だからです。そのような疑似体験によって向上させることができるのが『共感力』です。自分の周りにいる人と話をした時に「そうだよね」「わかる、わかる」といったことが自然と言えるようになること、これが共感力であり、その力の向上は、子どもどうしがお互いによく知り合い、仲よくなる時のポイントだと言えるでしょう。読書をすることで、登場人物の生き方や行動に思いを馳せ、想像し、疑似体験していくことは子どもどうしの人間関係を構築していく力につながっているのです。

その他にも読書には、素晴らしい効能があるそうです。イギリスのサセックス大学の研究チームが「ストレス解消」について調査したことがあるそうです。読書のほかに、音楽視聴・コーヒー・TVゲーム・散歩等でストレス解消につながったものを調べました。それによれば、読書によってストレスの68%が解消できたという結果が出たそうです。(ちなみに音楽視聴は61%・コーヒーは54%・TVゲームは21%・・・TVゲームは意外に少ない！読書が一番のストレス解消になったのですね。)

本校では、朝読書や「おはなしピエロ」の皆さんによる読み聞かせを行っております。ピエロの皆さんには、子どもたちも教職員も大変感謝しております。これからも子ども達が「本はおもしろい」「読書は楽しい」と思える環境づくりを行っていきたいと思います。ぜひ、ご家庭でも「みんなで読書タイム」を設けて、本に親しんでいただければと思います。